

編集 後記

9月9日に本州へ上陸した台風15号は記録的な暴風で大きな被害をもたらしました。その復旧も終わらない10月12日に本州へ上陸した台風19号、10月25日の台風21号と低気圧は記録的な大雨による甚大な被害を東日本の各地域にもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、本号では、原著論文3編、資料1編を掲載しております。原著論文のうち2編は介入研究であり、公衆衛生活動に直接活かすことのできる知見を示しております。

1編目は、積雪・寒冷・過疎地域における高齢者を対象とし、郵便による生活習慣への介入が食習慣の改善に有効であったことを明らかにしております。保健サービスへのアクセスが難しい地域の特性を考慮した公衆衛生活動での実用が期待できると考えます。

2編目は、全国の1万人以上の市町村を対象とし、SMRと常勤・非常勤という保健師の勤務形態によるマンパワーに着目し、その関連を検討して非常勤保健師の年間勤務述数が多いほどSMRが低いことを明らかにしております。今後、地域特性や社会経済的環境、住民の生活習慣などを含めた検証が期待されます。

3編目は、揺さぶられ症候群による外傷や死亡を防ぐための教育的動画による介入効果について検討し、動画による教育が泣きや揺さぶりに関する知識を増加させることを明らかにしており、正しい知識の普及と親の育児負担感の軽減に寄与できると考えます。

4編目は、地域包括ケアや健康日本21の推進など地域での保健活動を展開する上で重要な4つの住民組織に関して、新たなメンバーが見つからない、活動の対象者が固定化している、活動を楽しめていないメンバーが多いなど全国において共通の課題を明らかにしており、住民組織活動の支援や活性化への糸口を示しております。

公衆衛生活動の発展につながる知見を広く共有するために、できるだけ多くの会員の皆様に公衆衛生活動や研究の成果を論文として、本誌にご投稿いただきますようお願い申し上げます。
(和泉比佐子)

次号予告 (第66巻・第12号)

公衆衛生活動報告

新宿区保健センターでの発達障害に関連する「ちょっと気になる」についての保護者向けパンフレットの有効性の評価……………佐藤太一, 他

資料

研究開発型多国籍製薬企業の社会的貢献活動と患者団体との関係の透明性に関する日米欧の動向……………加藤美生, 他
都道府県食育推進計画の特徴: 具体的目標の分析から……………黒谷佳代, 他
都市部の生活支援付きの民間宿泊施設に入所した生活困窮者の健康状態と生活支援ニーズの特徴: 新規入所者の年代別検討……………的場由木, 他

会員の声

蘭方見聞録……………田中宏和